

春の行く草鞋跡見ん天津道子 矢吹氏 息 常也

「其袋」(元祿三年)より

鶯や手習の窓おもしろき十一歳調武子

日ぐらしの聲ぞ涙の親の里少 年 彌五郎

「猿蓑」(元祿四年)より

七夕やあまり急がば轉ぶべし 伊賀少年 杜 若

「卯辰集」(元祿四年)より

藪の中の薺ぢぢなは人にあはぬなり(牧童の 女) けん

絲きれて紙鳶は白根を行方哉 山中少人 桃 葉

此は扱行けどもく花の山 松任十歳 春 之

根ながらや櫻のせ行く渡し舟少 年 桃 英

牡丹散り芍薬開くあまた且かな少 人 桃 英

夕暮や早稻立ちのびて人見サ七尾少人 松 鶴

高燈籠松の木の間に見ゆる哉 九 歳 長 皿

南天の枝にうつらふ月夜哉 五 歳 長 皿

「併諸袋」(元祿四年)より

未明あけがたの曇りを春の形哉 十一歳 金 鈴

「有磯海」(元祿八年)より

嵐山猿のつら打つ栗のいが野明息 十一歳 小五郎

花散りて二日をうれぬ野原哉嵯峨農市 十二歳

「錦繡綴」(元祿十年)より

小僧ども庭に出でけり芥子坊主少 年 角 上

英國の幼稚園研究(つらき)

|| (マレー氏による) ||

紹介生

英國の幼稚園は極く初期から小學校の課程の不
足を補ふことに努めてゐた。幼稚園の主眼として

ゐるものは常に子供そのものであつた、子供の自
然の發達及び子供の然自の元氣であつた、故に幼

稚園の先生の眞價は子供の生活を理解してそれに同情する點に存する。

羅馬は一日にして成らずといふ譬の通り幼稚園も亦その精神を發揮することが出来るまでには外的に幾多の變化を経ねばならなかつたのである。

フレーベル時代には未だ大體に於て心理學は生理學や哲學から分離してはゐなかつた、而してフレーベルが是等哲學系の人々の著作に係る心理學書を幾何まで讀んでゐたかは疑問である。併しフレーベルは神秘的な半面を持つてゐると同時に一方稀有なる心理的洞察力を持つてゐて今尙一般に承諾せらるゝ心理學の定理を獨創することが出来たのである。

フレーベルは世人の眼を子供の上に注がしめた而して子供の發達は圓滿でなければならぬ、情と意を托げてまで智を授くる必要はないと説いた。

フレーベルは感官の訓練のために彼の恩物を創始したのではなくて精神と肉體との活動を促す材

料としてゐる。

大體から云つてこの恩物は結構なものである、併しこれはフレーベルが母親や子供の日常生活を見て思ひ付いたものなのである。

フレーベルは彼の恩物を重要視し過ぎた傾きがある。子供が彼の恩物から得る數學的の觀念をあまり大きく見積り過ぎたのである。

フレーベルは幼兒の遊ぶ玩具を見て之を組織立てたなら一層効果が増すであらうと考へた、併し遊戯といふことは却々デリケートな問題でさう思ひ通りに旨く行くものではない。

フレーベルの多くの後輩は大抵彼の眞義を解し得ず徒らに彼の説を擔ぎ上げた氣味がある。

ドイツケンスはフレーベルの説をマーレンホルツ夫人から傳へられたのでフレーベルの眞義を解してゐた、彼は現今の多くの幼稚園當局者よりも遙かに進んだ考へを持つてゐたのである、ドイツケンスの書いたものから次の一節を抜書してみる

それならば又フレーベルは決して彼の教育をすべての氣任せな運動を禁制する課程に變へることを望まないといふことが理解されなければならぬ。子供の教育の過半は氣任せな運動の中に存するのである。如何なる方向に進んだら最も有益であるかを示し、自然の供給する啓示に従つて心の成長を助けることは如何によいことであるかを示すのが彼の目的である。この點に於て健全なエネルギーを禁制するといふこと程フレーベルの企畫に妨げをなすものはない。

目隠し、ふざけ騒ぎ、判じ物、お伽話等すべて子供の機能を働かしむるものは皆フレーベルの教育法の一部として見らるべきである。……常に子供の上に眼を注いで居る自然は「我々はおもつと子供に活動して貰ひたい、それは我々の役に立つ」と叫んでゐる。

幼稚園の金言はSelf-activity セルフ・アクティビティ といふことである。フレーベルの教育法を採り用ゐて形式に駛つた嫌

ひもないではないが彼の獨創的の分子を多分に取り入れた、又彼の力説した自然に對する子供の興味も出来る限り力を入れて養成された。お話や唱歌も彼が望んだ程手際よくは行かなかつたが兎に角行はれてゐた。

けれどもやぐざな幼稚園や貧弱な先生が増えて來ると幼稚園教育も頗る見榮えがしないものとなる。その上未だ一般の人々は扱て置き教育に携つてゐる人々でさへ子供の自然の元氣は眞の教育的な結果であるといふことが充分わかつてゐなかつた。斯ういふ譯だから先生が誤つた考へを抱いてゐる單なる遊戯の道具を緩漫な實物教育の材料と心得るのも無理はない。

然るにエレメンタリー、スクール、リコード誌上に於てデイウエイ教授がフレーベルの教育法に就て同情ある理解ある記事を發表して以來幼稚園教育といふものが重く見られるやうになり、英國の幼稚園が形式的な束縛と半可適な眞理から脱す

るやうにもなつた。

英國に於ては如何なる運動に於ても保守主義の人々があると同時に進歩主義の人々がある。英國の幼稚園當事者の中には伯林なるベスタロツチ、フレーベル院（一八七三年設立）の趣旨に賛同してゐる者が澤山ある。ベスタロツチ、フレーベル院の仕事は「教育の基礎は生活そのものであつて熟練でもなければ本でもない」といふベスタロツチの主義に基いて行ふのであるがフレーベルも亦同様の趣意をあらゆる方法であらゆる場所で説いたのである。

家族生活といふことに力瘤を入れてゐたベスタロツチ、フレーベル院の人々は幼稚園の先生は家事に精通してゐてその生徒に家事の教育を與ふべきであると信じてゐた。

一八九九年ベスタロツチ、フレーベル院で二十五年間も働いてゐたシエベル嬢は伯林を去つて倫敦へ來た、これはセザメ俱樂部の幹旋である、而

して廳がて「セザメ幼稚園家庭教育院」なる名稱の下にシエベル嬢の手腕を俟つべき教育機關がリボン侯爵夫人によつて開設された。

英國の現今の最良の幼稚園では生徒に極く自然な方法を取つて彼等が家庭に於て見て來たことを人形や人形の家を使つたり指や動作や砂盆に繪を描くことやによつて再び表現させる、それから又動物や植物を愛護するやうに教へられる。少し大きい生徒になると小さい公衆に對して義務を持つことゝなる、けれども彼等の興味は擴大される、彼等は目に見ゆるもの手に觸るゝものが悉く何處から來たのか又如何にして作られたのかといふことを知りたがるのである。實物教示の代りに彼等は自身で經驗したり發明したりするやうに導かれる。彼等は簡単な材料を用ゐて贈物をしたり玩具を拵へたりする。

綺麗に几帳面に折つたり切抜いたりして無用なものを拵へるといふことは漸次その跡を斷つて行

く。

スタンレイ博士の「砂堆の話」のやうな研究を讀んでから幼稚園の先生達はフレーベルが「人の教育」で説かんとしてゐたことや又彼がカイルハウで實際に行つたことやを充分に確めることが出来るやうになつて來た。

フレーベルは個性の發達は種族の個性に伴ふといふことをコントやハーバート、スペンサーよりも前に唱へてゐた、而してデイウエイ教授は疾にフレーベルの最要の定説の一部を認めて既に之を實際に行うてゐる。

收穫に關する形式的な授業の代りに現今では生徒が自ら麥を刈つたり吹き分けたり臼で挽いたり篩ひ分けたりする、代り代りに捏粉ねりこをこねて自分達のパンを拵へる、而して「自製のパン」を持つて大喜びで家へ歸るのである。

更に大きい生徒になると粗末な焼物位は作るし極く簡単な織機を作つて自分達の敷物や人形の毛

氈位を織り出す。

以上は子供の拵へるものであるから勿論立派に仕上がる譯はないが子供の思想や獨創力すべクリテイはよく現れてゐる。而してこの目的のある活動のために生徒は未來の自制の要素たるべき心意の集中、體力の統御を得るのである。

併し英國の幼稚園全體が同一歩調をとつて斯くまでに立派な教育を施してゐるのではない、今でも尙或る地方では整然たる態度や子供らしからざる正確を子供に強ひて子供を機械になし了つてゐる所も尠くないのである。

近頃の幼稚園で行はれることには非常に價值ある興味が多くなつた。

形式的な自然教育は子供には適さないが家畜を可愛がつたり植木を大切にしたりすることは子供にはよい仕事である、動物を世話したり一緒に遊んだり、種子や球根の大きくなるのを番したりするのは愉快なものである。

音樂やリズムに對する興味は唱歌や子守唄や簡單なよい詩の句や樂音に耳を傾げることによつて養はれる。審美的傾向も自然との結合、子供の繪畫や色彩に對する快感の増すに従つて促進される美術の規則に従つて進んで行く古風な繪畫教授法はなくなつて了ひ今では子供が自由に描いたり彩つたり寫生したりするのである、

幼稚園ではお話といふこともよく行はれる、併し昔のやうに話の種類的選擇に愚かしい制限は設

雜
纂

△ベルリンの幼者保護

法學博士 小河滋次郎氏

今は敵國となりぬれど、獨逸の首都伯林は、實質の良否は兎も角、近代的救濟事業の施設に就て殆んど其總てを網羅し得て餘す所なしと稱せらるゝ所なり、此伯林の現況を知

けなくなつた。

現今では國民フレーザー協會のお蔭で幼い子供にも文學は眞價を保ち得るといふことが分りかけて來た。幼稚園が教育を自發的な活動の上に根ざさしめこれを合理的な結果のみならず精神的な結果に導いて行くことが出来るやうになつたのは價値ある文學に職由するものと看做さなければならぬ。

るは文明都市の斯業を詳かにするの上に利便の少からざるべきを信ず、他山の石亦た以て玉を磨くべきに非ずや

幼者保護は救濟事業の出發點とも中心點とも稱すべきものにして特に近年に至り此方面に發達進歩の著しきものを見る所なり。此に謂ゆる幼者とは、乳兒、幼兒、少年及び青年等の、上みは丁年